

令和7年 学校評価 自己評価（後期）

1 学校の重点目標

- ◇ 「主体的・対話的で深い学び」の展開による「確かな学力」の習得
- ◇ 自他のよさを認め合う、思いやりの心を基盤とした「豊かな心」の醸成
- ◇ 心と体を一体として捉えた健康・体力の保持増進による「健やかな体」の育成
- ◇ 「チーム学校」で取り組む「職員の資質向上」の推進
- ◇ 地域に根ざした「開かれた学校」の創造
- ◇ 教育の質を向上させる「教育の情報化」の実現

2 課題と改善策（4段階評価）

	評価項目	教員	評価結果と改善方策
確かな学力	1 「主体的・対話的で深い学び」の実現	3.3	・メリハリをつけて話し合う場面や考えさせる場面に組みこませるようにする。  ・効果的にICTの活用し、複式学級の学習指導が少しでもスムーズに行くように工夫する。
	2 「規律と静けさと安心感のある」学級づくり	3.3	
	3 カリマネの推進（作文教育、保健教育）	3.7	
	4 複式学級における学習指導法の確立	3.4	
	5 特別支援教育の充実（校内委員会、授業のUD化）	3.4	
豊かな心	1 いじめ、不登校、問題行動の未然防止	3.3	・今後も保護者との連携を密にしながら、早めの対応に心がけていきたい。  ・道徳の授業を活用しながら日々の生活をに直せるよう努めていきたい。  ・日々声をかけながら指導を徹底していきたい。
	2 Momを基盤とした児童理解	3.3	
	3 命の教育の充実	3.9	
	4 ボランティア活動の推進	3.3	
	5 一校一改革の徹底「話は目で聴く」	3.4	
健やかな体	1 基本的な生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん）	3.4	・河頭地区学校運営協議会の開催に伴い、基本的な生活習慣を見直す良い機会となった。家庭と連携した保健指導を今後も継続させたい。  ・今後も体力テストの課題を意識しながら、体育の授業や朝の体力づくりに取り組ませたい。
	2 「チャレンジかごしま」への挑戦	3.6	
	3 新体力テスト結果を踏まえた課題克服	3.3	
	4 主体的に問題解決を図る「保健教育」の推進	3.4	
職員の資質向上	1 アクションプランに基づく業務改善の推進	3.6	・情報交換を行いながら、より主体的に研修に取り組んでいきたい。  ・研修したことが授業改善につながるよう努めていきたい。
	2 問題解決型の服務に関する研修の充実及び体罰の根絶	4.0	
	3 協働的な職員研修の実施（一人でしない、一人にしない、みんなでつくる!）	3.6	
社会に開かれた学校	1 学校の説明責任と子供のよさの積極的発信	3.9	・地域行事に参加することで、子供たちの様子を知らせてもらうことができ、南方小のよさを伝えることができた。今後も地域との連携を図っていきたい。
	2 学校、家庭、地域が一体となった特色ある教育活動の推進	3.9	
	3 コミュニティ・スクール実現に向けた体制整備	3.4	
教育の情報化	1 情報教育の推進（情報活用能力、情報モラル教育、プログラミング教育）	3.4	・本年度の計画を見直し、来年度スムーズに実施できるよう準備を行ってほしい。  ・お互い情報交換を行いながら、よりよい活用ができるよう努めてほしい。  ・情報漏洩等に気を付けながら、よりよい活用に努めてほしい。
	2 教科指導におけるICT活用促進（ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業）	3.6	
	3 校務の情報化の推進（総合型校務支援システムの有効活用や連絡手段のデジタル化等）	3.7	

3 次学期に向けての取組

- 本年度の反省を踏まえ、複式学級での学習指導がよりスムーズに行われるよう、指導方法の見直しやICT活用の見直しを行い、実践に繋げられるよう努めていく。
- 家庭や地域との連携を大切にしながら、今後も児童一人一人に寄り添った指導を行っていく。